9月定例会

ドクターヘリ

臨時離着陸場（ランデブーポイント）整備

1,060万円 新規

歳入歳出決算など22議案を慎重に審議し、それぞれ原案の通り承認・可決・認定されました。

平成24年度 一般会計（補正後）

総額54億2,600万円に…

◇平成23年度健全化判断比率並びに公営資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、健全化判断比率並びに公営企業の資金不足比率を監査委員の意見を付して、報告するもの。

1．健全化判断比率

・実質赤字比率　なし（早期健全化基準15・0％）

・連結実質赤字比率　なし（早期健全化基準20・0％）

・実質公債比率　11・6％（前年度より2.5ポイント改善）

「一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模等（町が自由に使える財源の標準的な規模）に占める割合で3ヵ年の平均。

・将来負担比率　48・5％（前年度より7.3ポイント改善）

「一般会計等が将来負担すべき実質的負債の標準財政規模等に占める割合。

2．公営企業資金不足比率

水道事業、町立真室川病院事業、公共下水道事業、まむろ川温泉梅里苑事業

4会計全て資金不足なし

◇真室川町教育委員会委員の任命

沓澤　力氏の再任について

◇町立中学校統合に伴う関係条例の整理に関する条例の設定

真室川中学校と及位中学校を平成25年4月1日に統合することから、関係条例の学校名等を変更する必要があるため提案するもの。

◇真室川町防災会議条例の一部改正

災害対策基本法の一部を改正する法律が平成24年6月27日施行されたことから、当該条例の所掌事務、防災会議委員等について当該条例の一部改正を提案するもの。

◇真室川町災害対策本部条例の一部改正

災害対策基本法の一部改正の法律が施行されたため、一部改正を提案するもの。

◇真室川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

本件条例改正は、人事院規則が改正され、特別休暇のうち、ドナー休暇に末梢血幹細胞を提供する場合を加える当該条例の改正。

◇町立真室川病院の一部負担金、使用料及び手数料条例の一部改正

介護老人保健施設入所者（梅花苑）が受診した場合、健康保険法適用外となり自由診療として保険法適用の1.5倍の費用負担となることから負担軽減を図るため、入所者を自由診療から除外し、当該条例の一部改正を提案するもの。

◇山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

外国人住民の住民基本台帳法適用に伴う規定整備を提案するもの。

◇平成24年度秋山牧場管理用機械購入契約の締結

トラクター1台、ブロードキャスター1基、ロータリーブロア1基を9千200万円で真室川町農業協同組合と購入契約を締結。

◇平成24年度秋山牧場クレーン付運搬車購入契約の締結

秋山牧場クレーン付運搬車1台を1千398万円で真室川町農業協同組合と購入契約を締結。

◇平成24年度まむろ川温泉梅里苑改修工事請負契約の締結

浴場、脱衣所、サウナ室の床、壁、天井の張替え、洗い場増設等の改修工事を沼田建設（株）と請負契約を締結。

平成24年度 一般会計

梅里苑木質チップボイラー設置

8,498万円 新規

9月定例会は9月6日から12日までの7日間の会期で開かれ、平成23年度各会計の

休館期間10月31日～12月21日まで。

◇平成24年度真室川町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額51億3千730万円に2億8千870万円を追加して、歳入歳出予算の総額をそれぞれ54億2千600万円とするもの。

問　ドクターヘリ臨時離着陸場整備の内容は。

総務課長

緊急のランデブーポイントは4カ所で、防災センター、中村河川公園、旧小又小跡地、及位中（予定）で、今回は旧小又小跡地の予算である。

問　梅里苑木質チップボイラー設置工事8千498万円の内容は。

防災センターヘリポート

町民課長

今回の工事は温泉の加温と給湯、宿泊施設の暖房、ボイラーの燃料になるチップのサイロ庫建設費である。

問　青年就農給付金の内容は。

産業課長

給付要件があり経営者年齢45歳未満で独立自営就農であること。経営計画の提出及び生計成立計画書提出が条件。

当町では申込者13人、対象者5人と1組の夫婦。

農業大学校でも制度の説明を行っている。

問　プレミアム付商品券発行事業費補助金440万円と内容は。

産業課長

北部商工会で12月上旬発売予定。地元の消費拡大が目的である。

問　町土地開発公社残余財産収入と公社の解散・廃止と経過は。

総務課長

土地開発公社については2年前から指摘をされ今回公社の残余財産1千400万円を一般会計にいれた。

◇平成24年度真室川町介護保険特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額9億2千280万円に110万円を追加して、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9億2千390万円とするもの。

議長室より

明けない夜がないように季節もまた必ず巡って来る。春が来るから厳冬にも耐えられる。秋が来るから猛暑にも耐えられる。しかしいつになったら帰れるか分からず、いまだに避難生活を続けなければならない被災者の苦悩を思うと、本当に胸が痛む日々である。

今年の夏も異常とも言うべき猛暑日が続く中ロンドンオリンピック、パラリンピックが開催され、連日の暑さを忘れるくらいの感動を与えてくれた。

メダリストたちには幼い時から家族や共に頑張った人々との壮絶なドラマがあると思う。

「親の価値観が子どもの価値観を作る」というある本の言葉が思い出された。努力が報われた瞬間、とても美しい涙であり、美しい感謝の言葉だと思った。

そんな夏も終わり収穫の秋、暑さで生育が心配された水稲・園芸作物が平年並みの収穫であるとのことで安心している。

しかし、食糧自給率がわずか39％にすぎない日本は、先進国最低の異常国家であると言われている。諸外国からいつでもどこからでも購入できるという保障はないだろう。政府には自国農業の自給率アップの対策を早急に進めてもらいたいと思う。

農業人口が高齢化していると言われているが、体力に応じて生きがいを持って生涯現役で頑張っていただきたいと願っている。

議長　佐藤　忠吉